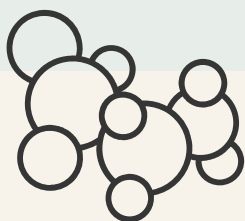




関西センター「研究者と技術を知る」シリーズ④

無料セミナー

魚の健康を支える マイクロバイオーーム研究と 水産養殖への応用



2026.

9.18 金

現地 15:30～17:00

Live 配信 15:30～16:30

講演者



産業技術総合研究所
モレキュラーバイオシステム研究部門
バイオ分子評価研究グループ
主任研究員

竹内 美緒



会場

グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 4 階
産総研・関経連うめきたサイト
オンラインのハイブリッド形式
(ブラウザから視聴可)



定員 50名(会場)

主な内容

魚類マイクロバイオーーム研究が拓く、次世代の水産養殖

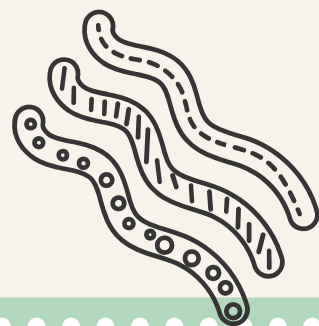
水産養殖は将来のタンパク質供給を支える重要な産業ですが、魚病対策や飼育環境の管理など多くの課題を抱えています。近年、魚の体表や腸内に存在する微生物（マイクロバイオーーム）が、健康維持や疾病抵抗性に深く関わることが明らかになってきました。

本セミナーでは、魚類マイクロバイオーーム研究の最新動向とともに、産総研で進めている研究成果をご紹介します。体表細菌叢の制御による魚病抑制、フン中バイオマーカーを活用した健康管理、酪酸産生菌による腸内環境改善など、養殖現場への応用が期待される技術や今後の産業展開について解説します。



こんな方におすすめ

- ・魚類の健康と微生物の関係について、理解を深めたい方
- ・即効性のある解決策だけでなく、課題解決の土台となる研究に関心のある方
- ・魚類マイクロバイオーームを、水産養殖の新たな研究・技術テーマとして捉えたい方
- ・水産養殖の現場課題と研究成果を結び付けて考えたい研究者・技術者の方
- ・研究成果の背景にある課題意識や、社会実装に向けた可能性に関心のある方
- ・魚病対策や養殖魚の健康管理、養殖効率向上に関する技術的課題をお持ちの方
- ・研究機関との連携や共同研究に関心がある方



プログラム

15:30 魚の健康を支えるマイクロバイオー姆研究と水産養殖への応用

産業技術総合研究所

モレキュラーバイオシステム研究部門

バイオ分子評価研究グループ 主任研究員 竹内 美緒



TOPICS

1. 魚類マイクロバイオー姆とは
2. 体表細菌叢制御による魚病抑制
3. フン中バイオマーカーによる健康管理
4. 酪酸産生菌による腸内環境改善

16:15 質疑（現地・オンライン）

16:30 ポスターセッション・情報交換会

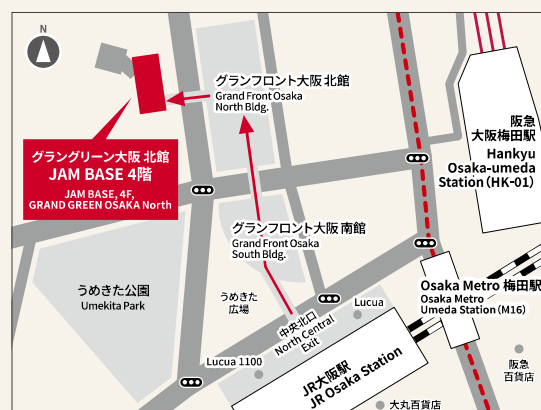
アクセス

産総研・関経連うめきたサイト

〒530-0011 大阪市北区大深町 6-38

グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 4 階 JAM-OFFICE 4-A

1. JR大阪駅 中央北口アトリウム広場から、2階連絡デッキでグランフロント大阪 南館を通過し、グランフロント大阪 北館へ進んでください。
2. グランフロント大阪 北館から接続ブリッジでグラングリーン大阪 北館 JAM BASEへ渡ってください。
3. タリーズコーヒー（有隣堂）を抜け、エスカレーター手前、右手のエレベーター4Fへおさがりください。
4. 「Syn-Salon」壁面サインの左手になります。



申し込み方法



EventHub
イベントプラットフォーム
お申込みはこちら！

https://x.gd/umekita_260918

※ 申し込み後、当日の案内メールが届かない方は、
お手数ですが事務局(M-umekitasite-ml@aist.go.jp)
までご連絡ください。

[主催] 国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター
株式会社 AIST Solutions

[共催] 公益社団法人関西経済連合会

